

栃木県埋蔵文化財センター  
平成23年度  
発掘調査報告会



頼朝塚古墳群  
(須恵器大甕出土状況)



北ノ内遺跡  
(四面廂付建物跡)

**日時 6月19日(日) 10:00~15:00**

**場所 栃木県埋蔵文化財センター研修室**

**定員 200名**

申込みは電話・FAX、またはメールでお名前、ご住所  
お電話番号をお知らせ下さい。

(財) とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター

〒329-0418 栃木県下野市紫474番地

電話 0285-44-8441 普及事業担当まで

FAX 0285-44-8445

メール webmaster@maibun.or.jp



埋蔵文化財センターが平成 22 年度に発掘調査を行った遺跡と報告書作成中の主な遺跡について分かりやすく説明します。

## ◎プログラム

10:00 開会

### 1. 菅田古墳群 (足利市)

丘陵上に造られた古墳時代中期～後期の群集墳です。<sup>いちよう</sup>銀杏の葉の線刻がある円筒埴輪などがたくさん出土しています。

### 2. 吾妻古墳 (壬生町・栃木市)

栃木県最大の前方後円墳です。石室入口の石材に高度な切り組み加工が確認され、石室前面からは非常に珍しい<sup>とうす</sup>銀製の刀子や装飾付太刀の金具、馬具の飾り金具などが出土しました。

### 3. 頼朝塚古墳群 (市貝町)

古墳時代終末期の円墳と方墳を調査しました。この時期の石室が明らかな方墳は芳賀地域で初めて見つかりました。円墳の周溝内からは須恵器の大甕が割られた状態で出土しました。

12:00 休憩

### 4. 北ノ内遺跡 (市貝町)

奈良・平安時代の集落跡です。地方官衙（役所）で見られるような大型掘立柱建物群と、格式の高い中心的な建物とされる<sup>しめんびさし</sup>四面廂付建物跡が見つかりました。

### 5. 助五郎内遺跡 (市貝町)

北ノ内遺跡の北にある、古墳～平安時代の集落跡です。直径11cm の非常に大きな<sup>ぼうすいしやがたどせいえんばん</sup>紡錘車形土製円盤が出土しました。

### 6. 西刑部西原遺跡 (宇都宮市)

井戸から出土した木製品が、全国的にも貴重な平安時代の<sup>くら</sup>鞍の部品であることが分かりました。また旧石器時代の石器が<sup>くわ</sup>長野県諏訪地域産の黒曜石を使っていることも分かりました。

15:00 閉会

※終了後、栃木県立しもつけ風土記の丘資料館に移動し春季特別展「栃木の遺跡」の展示解説をします。

●当日は菅田古墳群と西刑部西原遺跡から出土した遺物のミニ展示も行います。



菅田古墳群



吾妻古墳



助五郎内遺跡



長さ 37cm

西刑部西原遺跡